

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	愛知県立総合看護専門学校
設置者名	愛知県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	第一看護科	夜間・通信	100	9	
(備考) 当校では、哲学、教育学等の基礎分野以外の科目について、原則、実務経験のある教員が担当している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページに掲載 ( <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/shugakushien.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/shugakushien.html</a> )
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名   なし
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	愛知県立総合看護専門学校
設置者名	愛知県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	愛知県立総合看護専門学校 自己評価委員会
役割	教育水準の維持向上及び独自性のある教育の実現を目指した自己点検・自己評価に関する事項について審議する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医師	令和 7 年度中 (R8. 3. 31 まで)	本校校医
藤田医科大学 教授	令和 7 年度中 (R8. 3. 31 まで)	本校非常勤講師
(備考) 外部人材は学校長が選任している。		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知県立総合看護専門学校
設置者名	愛知県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校教育課程については、本校学則施行細則第 2 号第 1 項に基づく教務委員会及び教務委員会カリキュラム部会で審議し決定する。審議内容は以下のとおり。</p> <p>(教務委員会)</p> <p>教育課程に関すること、履修及び卒業の認定に関すること、学生の規律及びその他学生指導に関すること及びその他必要事項に関すること</p> <p>(教務委員会カリキュラム部会)</p> <p>教育内容、教育方法の検討に関すること、臨地実習の指導内容、方法の検討に関すること、学生の履修上の指導に関すること、学生の学習環境の整備に関すること及びその他必要な事項に関すること</p> <p>実施前年度に委員会での審議及び学内での決裁を行い、当該年度の 4 月に各学生に学習の手引き(シラバス)として配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生に配布及びインターネットで公表</p> <p>(<a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/0000011044.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/0000011044.html</a>)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目については、本校学則第 17 条の 3、本校学則施行細則第 5 条及び学習の手引き(シラバス)に記載された成績評価の方法・基準を基に、担当教員が筆記試験、口述試験、実技試験、レポート等の結果を評価、点数化し、各学生の成績を策定する。</p> <p>成績・評価の認定手順は、各学生の成績を策定後、上記教務委員会に提出し、委員会の審議を経て履修及び卒業の認定を行う。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価においては、本校学則第 17 条の 3、本校学則施行細則第 5 条及び学習の手引き（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準を基に、担当教員が筆記試験、口述試験、実技試験、レポート等の結果を評価、点数化し、点数に応じて A～C 及び不合格として各学生の成績を策定する。

(令和 6 年度)

#### 客観的な指標の算出方法

履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100 点満点で点数化）

学科名	第一看護科	学年	1	学生数	115
-----	-------	----	---	-----	-----

#### 成績の分布

指標の数値	～50 点	50～60 点	60～70 点	70～80 点	80～90 点	90～100 点
人数	0	0	4	26	70	15

下位 1/4 に該当する人数 29 人

下位 1/4 に該当する指標の数値 79.5 点以下

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/shugakushien.html>)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定については、本校学則第 18 条、本校学則施行細則第 11 条の規定により、所定の単位を取得した者に対し、教務委員会の審議を経て学校長が認定する。卒業認定については学生便覧に記載し、各学生に配布している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/shugakushien.html>)

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	愛知県立総合看護専門学校
設置者名	愛知県

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

### 2. 教育活動に係る情報

#### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
看護		医療専門課程	第一看護科	○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	114 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		313 人	0 人	23 人	144 人	167 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本校教育課程については、本校学則施行細則第2号第1項に基づく教務委員会及び教務委員会カリキュラム部会で審議し決定する。審議内容は以下のとおり。</p> <p>（教務委員会）</p> <p>教育課程に関すること、履修及び卒業の認定に関すること、学生の規律及びその他学生指導に関すること及びその他必要事項に関すること。</p> <p>（教務委員会カリキュラム部会）</p> <p>教育内容、教育方法の検討に関すること、臨地実習の指導内容、方法の検討に関すること、学生の履修上の指導に関すること、学生の学習環境の整備に関すること及びその他必要事項に関すること。</p> <p>実施前年度に委員会での審議及び学内での決裁を行い、当該年度の4月に各学生に学習の手引き（シラバス）として配布している。具体的なカリキュラムの内容は、添付の学習の手引き（シラバス）を参照。</p>

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価においては、本校学則第 17 条の 3、本校学則施行細則第 5 条及び学習の手引き（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準を基に、担当教員が筆記試験、口述試験、実技試験、レポート等の結果を評価、点数化し、点数に応じて A～C 及び不合格として各学生の成績を策定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業の認定については、本校学則第 18 条、本校学則施行細則第 11 条の規定により、所定の単位を取得した者に対し、教務委員会の審議を経て学校長が認定する。卒業認定については学生便覧に記載し、各学生に配布している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>学年毎に効果的な支援を行えるよう、1 年生においては専門用語の理解、2 年生においては臨地実習に向け実践的な知識を深めるための特別講義の実施、3 年生においては国家試験につながるような学力向上を目指した講義を計画し、実施している。</p> <p>また、学習環境支援として、図書室の整備、学生相談の実施を行っている。</p>

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
115 人 (100%)	3 人 (2.6%)	112 人 (97.4%)	0 人 (0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>看護師として医療機関（病院）に就職</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>2 年次と 3 年次に就職ガイダンスを実施。また個別に就職相談を行っている。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>看護師国家試験受験資格、保健師・助産師学校の受験資格、大学への編入学の受験資格</p>			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
354 人	4 人	1.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路の変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生相談及び個別相談の実施</p>		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
第一看護科	5,650 円	118,800 円	10,000 円	その他（10,000 円/年）は 教材費等
修学支援（任意記載事項）				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ： <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/0000058514.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/0000058514.html</a>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>教育水準の維持向上及び独自性のある教育の実現を目指し自己点検・自己評価を実施する。</p> <p>自己評価委員会を設置し、継続的に自己評価を実施するとともに、外部有識者に学校評価書の評価及び問題点・改善点を提言いただく。提言内容は自己評価委員会にフィードバックされ、学校運営の課題として審議、検討していく。</p> <p>主な評価項目：教育理念と教育目的、教育課程、臨地実習、教授・学習・評価課程、教職員、経営管理等</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 医師	令和7年度中 (R8.3.31まで)	当校校医
藤田医科大学 教授	令和7年度中 (R8.3.31まで)	当校非常勤講師
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/0000058514.html">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/0000058514.html</a>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
外部人材は学校長が選任している。		

### c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス： <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/</a> 刊行物 学校案内（来校者及び進学ガイダンス会場等での配布、郵送による請求）
---

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H123210000000
学校名（〇〇大学 等）	愛知県立総合看護専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	愛知県

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		34人（0）人	40人（－）人	41人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	21人	19人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－(0)人
合計（年間）				41人（－）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。



2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。